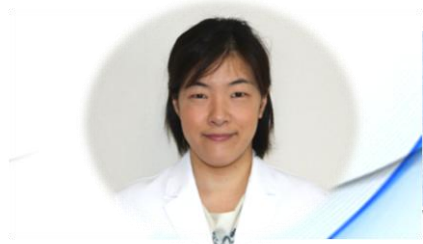




初秋の候、皆さま方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
8月1日より循環器内科に常勤医師が入職しました。また、9月より下肢虚血外来も開始となりますので合わせてご案内いたします。今月の診療科別予定表も同封いたしますのでご参照ください。今後とも、患者さまのご紹介をよろしくお願いいたします。

1. 入職医師よりごあいさつ



循環器内科 医長
はしもと あきこ
橋本 晶子



8月より阪南市民病院 循環器内科/総合診療で勤務しております橋本 晶子と申します。これまで和歌山県立医科大学附属病院 循環器内科およびその関連病院で主に急性期医療を中心に診療して参りました。このたび御縁をいただき、入職の運びとなりました。

心血管疾患は症状がないまま病状が進行し、出現したときにはすでに重症となっており、時には命に関わることもある疾患です。ですので、一次予防はもちろんのこと疾患の早期発見/治療および再発予防も非常に重要となってきます。症状のない患者様でも高血圧、糖尿病、脂質異常症、慢性腎不全、喫煙歴など、動脈硬化の危険因子を複数お持ちの方は、いつでもご相談いただけますと幸いです。また心不全や不整脈、弁膜症、閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症など多岐にわたって診療して参りますので、遠慮なくご紹介ください。

当院が地域住民の皆様にご貢献できる医療機関であるよう、これまで以上に地域の先生方と密接に連携しながら診療を進めて参りたいと考えております。何卒宜しくお願い申し上げます。

循環器内科 地域予約枠のご案内

○ 蒔田医師 ○

月曜日

10:20~10:50
14:00~14:30

○ 橋本医師 ○

水曜日

10:20~10:50
13:00~14:30



下肢虚血外来 始めます！！



阪南市民病院 循環器内科では、2021年9月から下肢虚血外来を開設します。

主な対象疾患は『末梢動脈疾患(PAD)、重症下肢虚血(CLI)』で
以前は「閉塞性動脈硬化症(ASO)」と呼ばれていた疾患です。



どんな患者さんの診察が可能なの？ 治療方法は？



末梢動脈疾患(PAD)、重症下肢虚血(CLI)

【症状】 ・間欠性跛行：歩行中に足が痛くなり歩けなくなるが、少し休むと回復し、歩けるようになる。目的地に着くまでに数回休憩が必要

- ・下肢冷感
- ・安静時下肢疼痛
- ・難治性下肢潰瘍
- ・下肢チアノーゼ、壊疽、黒色変化

【原因】 動脈硬化による血流障害、虚血

【検査】 ABI、下肢動脈エコー、皮膚灌流圧測定(SPP)、CT、MRI、カテーテル検査

【治療】 抗血小板剤、カテーテル治療

生活習慣の変化、糖尿病患者の増加、高齢化などにより、PADが増加していますが、症状に乏しく非定型的なことが多いことや認知度が低いことなどから過小評価され、ADL低下、下肢壊疽、切断に至ってしまうケースが多くあります。また、PADは本来四肢の動脈疾患のことを意味しますが、動脈硬化は全身の動脈で起こるため、脳梗塞や心筋梗塞を起こす可能性が高いことがわかっており、症状が間欠性跛行のみであっても5年生存率44%と予後が不良と言われています。しかし、ほとんどの患者は症状から整形外科や皮膚科を受診されることが多いのが現状です。特に重症下肢虚血の場合は数日で壊疽が拡大し、切断範囲が広くなり、歩行機能を失ってしまうこともあるため早急な対応を要します。そこで今回下肢虚血外来を開設し、地域の先生方から御相談しやすい窓口を作るに至りました。

○ 担当医からのメッセージ ○



上記の症状でお困りの患者を診られた際や、少しでも末梢動脈疾患(PAD)や重症下肢虚血(CLI)を疑った際には、ぜひ、阪南市民病院 循環器内科【下肢虚血外来】へ御紹介ください！ 心臓だけでなく、足もしっかりと診させていただきます！ どうぞ宜しくお願いします！

完全
予約制

火曜日(第1・3・5週) 13:00~15:00

※急患の場合は別途対応いたしますので、地域連携室までご連絡ください。



社会医療法人生長会 阪南市民病院 地域連携室

(直通) TEL 072-471-3020 FAX 072-471-3977

受付時間 午前8:45~午後6:00 ※土曜日は午後0:30までとなります

～ 阪南市民病院 基本方針 ～

全人的な医療を通して人々が自分らしく生きることにも貢献する病院
「やさしい」「ていねい」「あったかい」医療を提供する

